

川南原国営施設応急対策事業

主要幹線用水路白鬚川サイホン補修工事

本地区は、宮崎県児湯郡木城町及び川南町にまたがる659haの水田地帯です。本地区的営農は、水稻を中心に、水田の畑利用によるはくさい等の野菜、飼料作物等を組み合わせた農業経営が展開されています。

しかし、高鍋川南開拓建設事業(昭和15年度～昭和35年度)等により造成、改修された本地区的基幹的な農業水利施設は、老朽化によりトンネル地表面の陥没や水路のひび割れ等により施設の性能低下が生じております。農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、維持管理に多大な費用と労力を要しています。

本事業は、これらの問題解決のため、施設機能の保全と耐震化のための整備を一体的に行われています。

その一環として、本工事は、主要幹線用水路白鬚川サイホンの補修を行うもので、主な工事内容は鞘管工法(鋼管Φ1000mm)による管路更生工(L=185m×3条)と2箇所の水槽及び取付水路の改修工事です。

本工事には工程制限があり、かんがい期(3月10日～8月25日)には通水を行う必要があるため、非かんがい期の期間に工事を行うというタイトな工程管理が求められます。

現在2年目の管路更生工の施工中ですが、発注者及び施設管理者と密に連絡を取り、営農に支障を来さないよう工程を厳守するとともに、管水路内作業は酸素欠乏危険作業であることから、安全管理を徹底しながら、高品質な構築物を提供できるよう努めてまいります。

監督職員からのエール

本工事の主要幹線用水路白鬚川サイホンは、高低差25mのサイホンであり、斜面部においては最勾配35.4°での鞘管工事を行うため、管の吊り込みや作業員の昇降などに際して安全対策を施し、施工されています。

さらに、現場の進入路は大変狭いため、地元住民の通行への配慮が非常に重要となっています。

このような中、現場代理人の香月所長は、近隣住民へ細かな工程説明を行うなど、関係者と積極的にコミュニケーションを図り、良好な関係を構築し、各種調整を的確に実施していただき、関係者から対応が適切であり素晴らしいと評価をいただくなど、円滑に工事が実施され、大変感謝しております。

本工事は、令和7年度完成に向けて、引き続き関係者と連絡を密に行うとともに、安全対策を行い、最後まで気を緩めることなく、無事故で工事完成を迎えるようよろしくお願ひします。

現場代理人

(写真右) ピーエス・コンストラクション株式会社

現場代理人 香月 哲

監督職員

(写真左) 九州農政局 宮崎中部農業水利事業所

工事課長 吉永 康巳

